

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

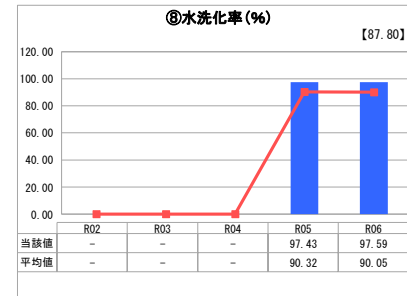
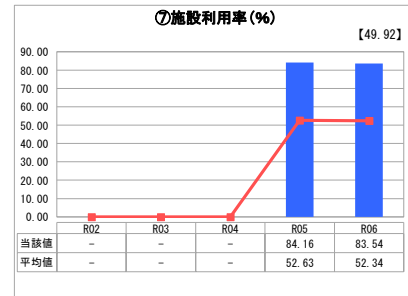
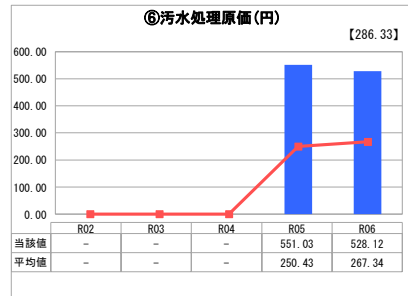
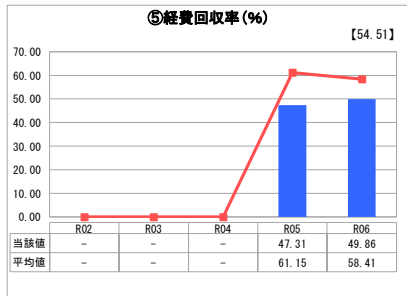
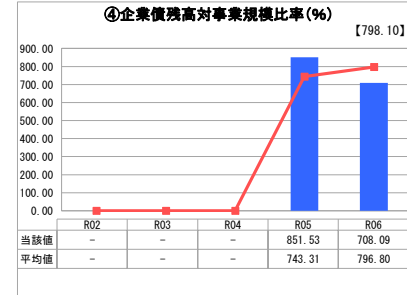
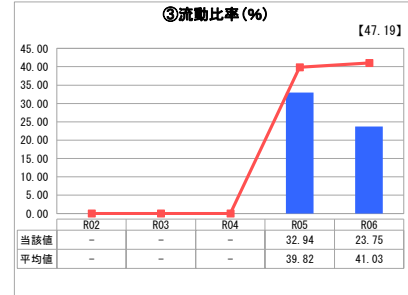
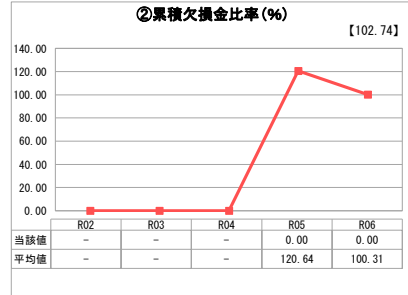
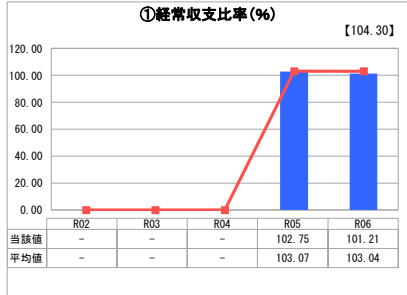
北海道 北竜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料(円)
-	82.89	55.57	53.51	5,000

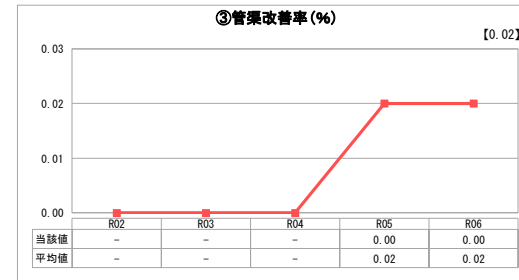
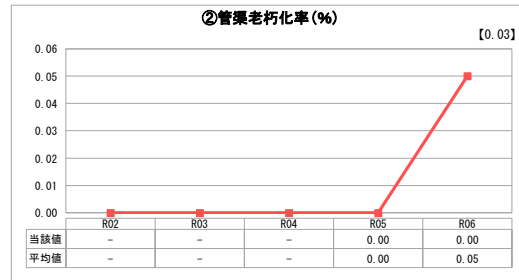
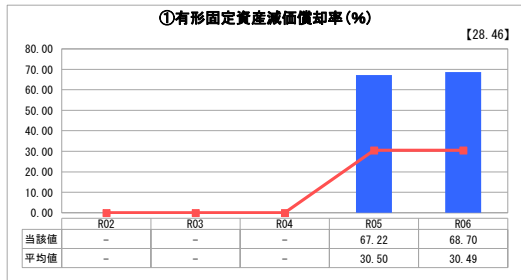
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,593	158.70	10.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
873	0.71	1,229.58

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

R5年度より企業会計に移行しています。経常収支比率は平均値を下回っていますが、一般会計からの繰入金により赤字補填を行っているため100%を超えている状況です。累積欠損金比率は赤字補填を行っているため欠損金が発生していません。流動比率は平均値より低くなっているものの、原資は確保できている状況です。企業債残高対事業規模比率は昨年より高かったですが、今年度は低くなっています。これは事業を実施しおらず企業債が減ったことによるものと推察されます。経費回収率は平均値を下回っており、一般会計からの繰入金での補填が多い状況です。このため料金の改定を検討します。施設利用率、水洗化率は平均値を上回っていますが、水洗化率は90%以上となっているので今後伸びる見込みはありません。

### 2. 老朽化の状況について

本町の処理区は2地区あり、和地区が56年、碧水地区が49年供用開始となっており、現在のところ管路施設の改修・更新の予定はありません。また処理施設においては機能強化対策事業により一部補助金を財源として電気計装設備や機械設備の更新を実施しています。

## 全体総括

処理区域内の水洗化率が高く、年々行政人口が減少していることから今後加入人口が増える見込みはありません。また費用についてもこれ以上の縮減が見込めない状況ですが、今後は機能強化対策事業や資本費平準化債の元利償還金が増えいく見込みです。収入の増が見込めないことから、料金改定や一般会計からの繰入金を検討し、安定した経営健全化を図ります。今後の更新計画については、R5に維持管理適正化計画を策定しR8年度より機能強化対策事業を実施する予定です。また管路施設については、カメラ調査等を定期的実施し維持管理に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。